

危険物新聞

第 388 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
 発行人 藤 井 政 雄
 編集人 松 村 光 惟
 大阪市西区新町1丁目5-7
 四つ橋ビル
 TEL (531) 9717・5910
 定 価 1 部 60 円

次の試験は 6 月 8 日と15日

甲種、乙種全類、丙種

(財)消防試験研究センター 大阪府支部では昭和61年第1回危険物取扱者試験を次のとおり実施する。

- ▷試験日及び種目 6月8日 甲種及び乙種1類～6類
6月15日 丙種
- ▷試験会場 大阪府立大学
- ▷願書受付日 5月7日(水)、8日(木)
- ▷願書受付場所 大阪府職員会館

2月16日、危険物取扱者試験結果

昭和60年度第3回危険物取扱者試験の結果は次のとおりである。

	受験者数	合格者数	合格率 (%)
甲 種	765	372	48.6
乙 4 類	2,622	1,221	46.6
乙 6 類	339	258	76.1

60年度成績良好 (大阪)

消防試験研究センターによる統一試験実施後約1年、3月18日現在の各都道府県別危険物取扱者試験結果(全危連情報による)がこのほど集計された。

合格率をみると、甲種→長野県56%(全国平均30.9%)、乙種4類→愛媛県51.6%(同36.3%)、丙種→福井県70%(同56.9%)が最高であった。しかし、受験者の多い府県、また近畿地区の甲種及び乙種4類の合格率は別表のとおりで、大阪はいずれも良い成績をおさめている。とくに予備講習受講者の合格率は甲種約63%、乙種4類約61%と群を抜いている。その要因は矢張り甲種3日、乙種2日のキメの細かい講習とテキスト資料の充実等があげられる。

◆昭和60年度 甲種危険物取扱者試験結果 (近畿並にその他の主たる都道府県)

	受験者数	合格者数	合格率 (%)
北 海 道	234	36	15.4
茨 城 県	458	97	21.2
埼 玉 県	396	144	36.4
千 葉 県	647	247	38.2
東 京 都	513	207	40.4
神 奈 川 県	1,091	346	31.7
静 岡 県	354	75	21.2
愛 知 県	591	125	21.2
滋 賀 県	161	36	22.4
京 都 府	240	98	40.8
大 阪 府	765	372	48.6
兵 庫 県	253	50	19.8
奈 良 県	88	26	29.5
和 歌 山 県	134	44	32.8
広 島 県	170	44	25.9
福 岡 県	128	63	49.2

◆昭和60年度 乙種第4類危険物取扱者試験結果 (近畿並にその他の主たる都道府県)

	受験者数	合格者数	合格率 (%)
北 海 道	9,552	3,094	32.4
茨 城 県	4,556	1,590	34.9
埼 玉 県	4,500	1,692	37.6
千 葉 県	5,463	1,869	34.2
東 京 都	16,381	5,774	35.2
神 奈 川 県	7,129	2,746	38.5
静 岡 県	5,659	2,157	38.1
愛 知 県	10,667	3,907	36.6
滋 賀 県	1,840	566	30.8
京 都 府	3,147	1,292	41.1
大 阪 府	9,338	3,852	41.3
兵 庫 県	4,049	1,406	34.7
奈 良 県	1,193	449	37.6
和 歌 山 県	1,224	452	36.9
広 島 県	4,531	1,500	33.1
福 岡 県	6,325	2,447	38.7

〈懸賞論文・優秀賞〉

化学工場の安全防災活動

日本触媒化学工業㈱吹田製造所

山崎 徹

はじめに

私の所属する工場は、神崎川左岸、吹田市と大阪市が境界を接する工業地帯の一角に位置し、近年周辺部に住宅が次々と建ち並び、近々大規模マンションの建設も具体化されるなど住工隣接が一段と進んでおります。

一方工場内に於いては、ニーズの多様化に対応するため生産品目の増加、品質の細密化が一段と要求されております。それに伴いプロセス制御用コンピューターの導入等装置化、自動化技術が導入されると共に、新規原料等未経験物質の取扱いも多くなりその危険性、有毒性等に関するチェックも重要なポイントとして挙げられる。反面、装置、原料等を扱う従業員は、当工場の場合、その平均年齢が40才を越え、高齢化の傾向は強い。

人間は、一般に加齢と共に知識と経験は豊富になるが逆に肉体的、物理的な能力が低下し、労働適応性もそれに伴って低下すると云われている。先進技術と労働適応性の低下と云う相反するものをいかにうまく組み合わせて日々の安全な生産活動を行うかと言うことが、今後の課題となる。

以上の如く私達を取り巻く状況は、刻々と変化し火災、事故等その潜在危険性は増々高まっていると云える。これらの状況のもと私達は、ひとたび近隣住民を巻き込むような災害(公害を含む)を起せば「工場の存続は有り得ない」ことを一人ひとりが肌で感じている。

更に当社には「安全は生産に優先する」「安全管理の責任はラインにある」と云う基本方針があり人命尊重を基本

理念としております。

このように経営トップから私達従業員まで一人ひとりの認識が当工場に於ける安全防災活動の出発点になっている。

私は危険物を扱っている生産職場の一員として現状と過去の体験から職場の安全確保には、危険物災害と云った一面だけの防災活動でなく公害防止、労働災害防止等を含む総合的な安全活動が重要と考えている。この観点からここでは、次の4点に絞り私見を混えて私達の工場の現状を述べてみます。

1. 設備の安全化
2. 事前チェックシステムの強化
3. 中高年対策
4. 職場の小集団活動

1. 設備の安全化

設計、建設、保守保全等各段階に於ける安全性チェックの欠如、並びにミスオペ、緊急時等の対応など人的面の欠陥が設備災害の大きな原因と云われている。工場では、この点に留意し設備の安全化に取り組んでいる。

1-1 新設改造時等に於ける事前チェック基準の制定並びに運用

「新設改造時等に於ける事前チェック基準」が制定されこれに基づいて設備の新設改造工事が実施される。計画から建設、試運転までの各段階でライン、スタッフによる徹底したチェックが行なわれる。事前チェックの主な対象は次に掲げる事項です。

- (1) 設備が法規に適合しているか。
- (2) 材質、安全装置。
- (3) 化学反応の発熱量と除熱量のバランス。
- (4) 機器の新增設、配管の変更。
- (5) 事故災害、緊急事態の対策。

更に現場の意見を充分反映させるため、工事チームに計画段階より運転管理者を、建設工事段階より運転員を工事



正確な判断と適切な守りが安全のポイント

ハツク消火器・自動消火器・消火装置をお役立てください。

会社や事務所ではO A、工場ではF A、ご家庭ではH Aとハイテク時代はどんどん進み、私達の生活は大きく変わります。でも、安全を願う心はいつの時代も同じ。ハツクは、常に安全確保のため真剣に取り組んでいます。

消火器・消火装置の総合メーカー

株式会社 初田製作所

本社工場/大阪府枚方市稲穂田3-5 〒573 TEL (0720) 56-128(局)
 東京支社/東京都港区芝大門2丁目6-7 〒105 TEL (03) 434-4841
 大阪支社/大阪市西区淀川区千舟1丁目55-47 〒555 TEL (06) 473-4870
 営業所/東京都・東京都・北海道・仙台・新潟・埼玉・横浜・静岡・名古屋・北陸・大阪・京都枚方・岡山・広島・高松・松山・小倉・九州

ガードは万全!

立合者（外来工事人の監督、火気監視等の役割）を兼ねて編入している。

1-2 安全審査委員会

工場幹部を含む技術専門分野の委員で構成された安全審査委員会が設置され設備の新設改造工事等の実施について計画の段階から完成試運転までの安全、防災について検討し、安全性の評価を行うと共に安全対策の勧告を実施する。

1-3 緊急時の対策

化学反応を行っている関係上、停電、断水に伴う攪拌冷却不能による異常反応防止対策を重点課題として取組み攪拌動力の設置、冷却用送水エンジンポンプの設置、反応設備の改造等進めて来ました。又緊急時処置規定を定め職場に掲示すると共に処置規定の遵守、迅速な行動を目指し訓練を行っている。

1-4 設備の保守保全

いかに優れた設備でも経年により損耗し機能が低下し腐食、破損などに至り危険物等の漏洩事故につながる。

(1) これらの異常の起りそうな所を事前に予測して処置する。

(2) これらの異常を早期に発見して不良箇所を処置する。

これが設備の保守保全であると考え。職場では、この2点を基本に「定期整備」「月例点検」「日常点検」を保守保全の3本柱としている。

〔定期整備〕

年1回生産を停止して装置の点検、計器機器のオーバーホール、消防火設備、安全装置の作動チェック等を専門担当者、メーカーによって行なわれる。腐食、疲労を引き起こす可能性のある装置等に対しては、目視点検だけでなく組織劣化検査を行ない残余寿命を予測し事故の未然防止に努めている。又計器機器の部品の定期交換など安全の先取りに心掛けています。

〔月例点検〕

化学設備、回転機器、圧力容器、除害設備、消防火設備、防油（液）設備などについて職場の熟練者である職長（作業主任者）による担当責任者制を取り定期自主検査の点検項目を点検基準によって項目ごとにチェックを月1回実施し管理台帳に記録して保管します。

担当責任者制を取ったことによる利点は

(1) 年間を通して同一人が点検することにより、わずかな異常も早期に発見出来る。

(2) 責任を持つ事により保守保全が、より密度の濃いものになる。

(3) 台帳を見ることにより機器等の修理などの履歴がわかり定期整備時の参考になる。

〔日常点検〕

月例点検の対象となった装置、機器等の中より使用頻度の高いものについて、毎日当日の作業員が点検、記録する事により異常の早期発見と簡単な修理などを行なう事を目的としている。又点検者が替る事により異なった視角からチェックが行なわれダブルチェックの効果も期待出来ます。

2. 事前チェックシステムの強化

プラントの新設改造等、新製品の製造、新規物質の取扱い、その他従来と変わったことを行う場合事前に関係者が、安全、公害、防災等について十分検討しチェックすることにより、事故災害を未然に防止することを目的として事前チェックのルール化を図って来ました。私達の所属する生産職場に直接関係する「新製品製造時」の事前チェックを実施しております。

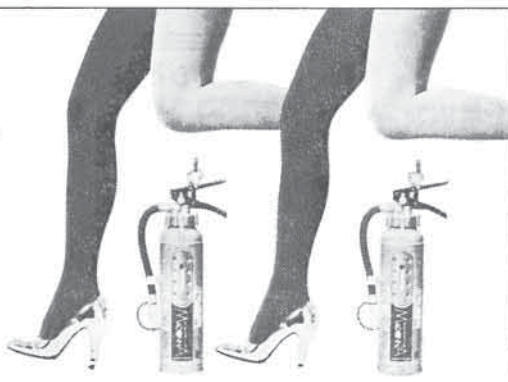
3. 中高年対策

高齢化に伴う心身機能の低下は、人間として避けて通れないことであり、職場の安全を確保する為にその対策の検討が急がれる。工場では「従業員の健康管理（身体面、精

安全が見える窓つき またひとつ超えました。

安心小窓がついた
モリタの消火器
MADONNA
火災御見舞金(最高20万円まで)つき

モリタポンプ株式会社



神面)を強化し機能低下の防止に努める」「低下によるマイナス面を設備の改造改善、教育等により補足する」ことを基本としている。

中高年対策も含めた具体的な取組みについて述べます。

3-1 設備の改造改善

- (1) 操作ミスの対策として安全装置の多重化。
- (2) レイアウトを見直し通路の確保や保守点検が容易に出来るようにする。
- (3) 照明の見直し(照度、位置など)
- (4) 重量物取扱いの機械化。
- (5) 監視作業面からメーター類の目盛をデジタル化する。などを重点に順次実施しております。

3-2 表示等の整備

(1) 操作ミス防止面から、バルブ類の○×表示、配管類の識別表示、行き先表示等基準を定めて実施している。又バルブの開閉順序、作業上の注意事項、防消火設備の使用方法を記した表示板を該当場所に設置している。

(2) 監視作業面から警報を、注意警報と重大警報に区別し、表示灯の色、アラームの音を異にする。又圧力計、電流計等に定常時の数値と安全限度数値の位置に印をつけて一目で異常の有無の確認が出来るようにしている。

3-3 教育

「安全の先取りなど、時代のニーズに対応した教育」「受ける側がやる気、のもてる興味ある教育」を目指している。以下具体例を述べます。

〔過去の事故等を自分の経験とする〕

他社の事故や他職場のボカミス等は、非常に気になるものです。それは自職場でも有り得る事だからです。私達は、過去のボカミス、事故等の内容を充分検討し自分の経験とします。どんな箇所、どのようにしたら、事故が起き易いか知ることは、事故防止の上で大変重要です。交替勤務者の交替時間を有効に活用し教育を行なっている。

〔専門担当者による教育〕

装置の新設改造時、新規計器機器の導入時「新しい技術

に乗り遅れたくない」「新しいものに興味がある」この二つの気持が合致して私達は、真剣に取り組めます。このやる気、をとらえて専門担当者による実状に合った教育が行なわれている。

〔通信教育の活用〕

従業員の生涯教育を目指し自己啓発の機会として活用することを目的とした通信教育制度があり希望者は、毎年開設コースの中から技術コースを選択して受講している。

3-4 健康管理

中高年者の健康増進の方法は、体力づくりにあるとの考えから健康、体力づくり運動、名づけて「フレッシュアップ運動」を進めています。健康器具の活用、ジョギング、ハイキング等により心身のリフレッシュを図り健康な組織体で無事故、無災害の明るい職場づくりを目指しています。

4. 職場の小集団活動

工場では、従業員の安全意識の維持向上を目的として4S、KYT等安全小集団活動に力を入れています。

私は、4S活動は、管理職の管理能力と職場の人達の自主性と意識の高さを表わすバロメーターであり職場小集団活動の原点だと考えている。又KYTは、職場の人達の危険予知能力のレベルアップを図ることにより、安全の先取り(不安全行動、事故災害の予防)を目的とします。

この二つを職場小集団活動の両輪として位置づけ定着させることが職場の安全確保につながるものと信じている。以下二つの活動について述べます。

4-1 4S意識の徹底

工場では、毎週金曜日を「整理、整頓の日」と定め意識の維持と行動の日に行っている。そして毎月「防消火設備」「消火器の点検整備」「危険物の保管」「通路の確保」などについて、防火部会員による定期パトロールが行なわれる。又所長、安全衛生委員を中心に構成された特別パトロールが行なわれ、その結果年2回安全優秀職場の表彰を安全、衛生週間行事の一環として実施している。



暮らしに安心と安全をお届けする

- 屋内外消火栓設備
- スプリンクラー設備
- ドレンチャー設備
- 泡消火設備
- ガス消火設備
- 粉末消火設備
- 自動火災報知設備
- 避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

株式会社 **三和商会**

本社 大阪市西区江戸堀1丁目23番21号
〒550 電話(06)443-2456(代)
平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号
〒547 電話(06)707-3341



職場の人達が受賞した賞状を見ながら「おつかれさん、皆の努力の結果だ、これからも頑張ろう」と素直に喜ぶ姿を見て「自分達の職場は、自分達で責任を持って守るのだ」の心意気を強く感じます。

4-2 KYT

安全の先取り活動の一環としてKYTの重要性が認識され、私の職場でも実施している。リーダーの育成に始まり、訓練シートによるグループトレーニング、私達の職場や仕事、過去の災害事例、ヒヤリ・ハットを題材としてイラストを作成しそのシートを使ったトレーニング、二つのグループが同じシートを使って別々の場所で同時に行ない討議内容をお互に公開する方法と手順を踏んで進めて来ました。私達の職場や仕事を題材にしたもの、二つのグループで討議内容を公開してディスカッションする方法は、現実感があり、又他グループの考え方など参考になり好評でした。しかし討議時間十分間の壁は、今だ破れません。

日常の作業に際して「如何に短時間で危険のポイントを把握し、対策として最も重要なものは、何か」を結論づけることが訓練の要点であるから今後とも努力が必要です。

他社に於いては、一人KY、個別KYにまで進んでいるところもあるとこのことで遅れは否めない。訓練時間、リーダーの教育等の対策の検討が急がれている。

以上4点について述べましたが、この他に私達生産職場に所属するものにとって、少人数となる休日夜間の安全確保は重大で火災、漏洩、異常反応等に対する迅速な対応が不可欠です。通報連絡、自衛消防隊編成等休日夜間の緊急措置規定が定められ、それに基づいて年1回の定期訓練を実施している。

又私達は、他職場の化学設備、防火設備等を見廻り通路、消火栓などの確認、事故災害を想定して、それに対する役割分担など非常時に迅速かつ適切な対処の出来るように自主的に取組んでいます。

おわりに

機械施設並びに管理体制の整備が如何に進もうとも、この組み合わせの中で占める私達の役割の重要性は 変わりません。

プロ野球の花形選手が引退して残るものは、金と記録(名誉)だと云われる。その為に日々血の出るような努力が払われます。

私達危険物を取扱っている者にとって無事故、無災害で職務を全うすることは、最高の記録であり名誉です。この記録は、日々の努力の積み重ねです。これが本物のプロと云えるのではないのでしょうか。

私達は、このプロの業績をもっと称えねばなりません。そして一人ひとりがプロで有る為の努力をして行かねばなりません。それが危険物災害、労働災害等災害ゼロの職場づくりにつながるものと確信します。



空調設備機器製造・販売

- オイルタンク用液面計
- 遠隔式警報ユニット液面計
- 各種液体タンク用液面計
- フロートスイッチ・微圧スイッチ
- タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467-8

危ない！

家庭でのドライクリーニング

最近東京地区の一般家庭で、ガソリン（揮発油）を使ったドライクリーニング中に、ガソリンに引火して火災になる事故が頻発している。

これは家庭用の洗濯機にホワイトガソリン（揮発油）を使用し、ドライクリーニングを行うもので、ある種の雑誌等にそのヒントが紹介され普及したようである。

事例は次のように電気洗濯機などの電気機器の電気火花が点火源になっているケースが多い。一般に「ガソリンに火気は危険である」ことは知っているが、その火気はマッチや石油ストーブの炎で、まさか電気スパークが着火源にはならないだろう、という誤った知識、或いは電気洗濯機や冷蔵庫のようにケースの中で火花が出ていることに気付かない無知が、このような事故の原因となっているようである。

事故の発生状況（東京都内）

東京都内における過去4年間に発生した工業ガソリン（白ガソリン）によるしみ抜きや洗濯作業中、または床掃除中に発生した火災は15件である。

年別火災発生状況

年別（昭和）	57年	58年	59年	60年
全焼（件）	0	1	0	0
半焼（件）	0	0	0	0
部分焼（件）	0	0	0	0
ぼや（件）	3	5	0	5
その他（件）	0	0	1	0
合計（件）	3	6	1	5

これらの火災に係る事故発生状況を見ると、作業形態別では、ホワイトガソリンによる衣類の「洗浄作業中」6件、「脱水機による脱水中」2件、「しみ抜き作業中」2件、「洗濯機による洗濯中」1件、「ろうけつ染に使用中」1件及び誤って「こぼした」事によるもの2件となっている。

又、点火源別では「何らかの裸火によるもの」11件、「モーター又は電気スイッチによるもの」2件、「静電気によるもの」2件となっている。

発生場所別では「台所」4件、「風呂場」4件、「居間」3件、「作業場」2件及び「洗濯場」1件、「屋外で」1件となっている。

事故例 その1

昭和60年12月1日午後11時頃、東京都内のマンションにおいて、ホワイトガソリンを使用してクリーニング中の洗濯機から出火する事故が発生した。

〔事故の概要〕

婦人雑誌の投書欄で「便利なガソリンクリーニングについて」の記事を読んだAが近くのガソリンスタンドから18ℓ缶入りのホワイトガソリンを買って来て自分で試してみようとした。

事故当日は、ポリ容器にホワイトガソリン3.5ℓ程を入れ着物を浸して押し洗いを数回繰り返した。（この作業で15ℓ程を使用）その後、両手で絞ったが、より速く乾燥させようと思い洗濯機で脱水した所、引火爆発したものである。

事故例 その2

昭和61年1月15日、午後2時すぎ東京都内において、自宅風呂場で化繊のカーテンをクリーニングしようとしたところ、身体に蓄積した静電気によると思われる火災事故が発生した。

消防点検は…マルナカ



マルナカは、社会に「安心」を提供する防災のプロフェッショナルです。

大阪本社 〒530 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 TEL (06)371-7775(代)

東京本社 〒113 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 TEL (03)944-0161(代)

神戸マルナカ 〒653 神戸市長田区東尻池町3丁目4番19号 TEL (078)681-5771(代)

〔事故の概要〕

事故を起こしたBは「家庭ドライクリーニング講習会」を受講し家庭でも簡単にクリーニングできることを知った。受講後、近くのガソリンスタンドで18ℓ缶入りのホワイトガソリンを購入し保管していた。

事故当日の午後2時すぎから、風呂場の窓及び出入口を開放して、化繊のカーテン(180×90cm)4枚をクリーニングしようとした。まず、ポリ容器にホワイトガソリンを3ℓ程入れ、カーテン2枚を押し洗いし、洗い終わった2枚を別の容器に移した。それからポリ容器に3ℓ程のホワイトガソリンを入れたし3枚目のカーテンを入れ押し洗いした後、4枚目をこの下に入れ押し洗いをくり返した。確認のため中腰の姿勢で1枚を50cm程持ち上げ、ポリ容器に戻した瞬間、手元付近から炎が上がり、風呂場全体に火が廻ったものである。

優秀作品に山崎、山家両氏

懸賞論文入選決まる

財大阪府危険物安全協会では、「危険物安全管理について」の論文を募集していたが、府下各事業所から9点の応募があり、慎重に審査の結果、優秀賞に山崎氏外1氏、優良賞に草刈氏外1氏が入選した。

〈優秀賞〉

「化学工場の安全防災活動」

山崎 徹(日本触媒化学工業株式会社)

「当所の安全管理について」

山家 勝(コスモ石油株式会社)

〈優良賞〉

「体験を災害予防に」

草刈晃一(大日本インキ化学工業株式会社)

「職場の安全活動」

榎本旬扶(日本ペイント株式会社)

〈人事移動〉

◇大阪府 ◇消防防災課長代理 米本保(公害対策主幹)
 ◇防災救助係長 小山吉次郎(主査) ◇防火保安係長 徳増勉(主査) ◇同主査 村井忠男(特殊公害主査)

◇府下消防本部

◇岸和田市消防長 清瀬喜代隆(市部局)
 ◇柏原・羽曳野・藤井寺市消防長 井関和彦(次長)
 ◇大東市消防長 長富正敏(市部局)
 ◇箕面市消防長 上浦洋志(次長)

大阪市予防部長に恒遠氏

◇大阪市消防局(部長級)

◇総務部長 恩山舜(市部局) ◇予防部長 恒遠滋(北署長) ◇警防部長 國本篤弘(予防部長) ◇総務課長 古川光男(市部局) ◇人教課長 松宮善之(市部局) ◇消防学校長 岡積勝雄(司会課長) ◇北署長 小川徳一(阿倍野署長) ◇東署長 八幡定年(西成署長) ◇西署長 十河将博(学校長) ◇南署長 今西俊之(西署長) ◇西成署長 辰己義雄(予防査察課長)

(課長級)

◇予防査察課長 沖浦吉彦(生野署長) ◇設備課長 川畑雅一(人事部参事) ◇警備主幹 吉田清治(水上署長) ◇司令課長 松尾武夫(旭署長) ◇福島署長 弓山義郎(東淀川副署長) ◇天王寺署長 河向重樹(南副署長) ◇淀川署長 榎隆助(大正副署長) ◇東成署長 西山洋(淀川署長) ◇生野署長 山口隆生(平野署長) ◇旭署長 本寺毅(西成副署長) ◇城東署長 山岸央(西副署長) ◇阿倍野署長 寺田清(天王寺署長) ◇東住吉署長 池田勲(人教課長代理) ◇平野署長 川本渡良(総務課長代理) ◇水上署長 岡本雅夫(城東副署長)



ハイテクテク。

常に防災の歴史とともに歩みつづけ、さらに未来に向けてハイテク防災空間を拡げつつあるヤマト。防災のトータルプランナーとして、確実に前進をします。

消火装置 消火器 警報装置 避難設備 各種防災機器

●防災のトータルプランナー

YAMATO

ヤマト消防器株式会社 SINCE 1916

■本社 〒537 大阪府東成区深江北1-7-11 TEL. (06) 976-0701 既

■東京本社 〒110 東京都港区白金台5-17-2 TEL. (03) 446-7151 既

危険物取扱者養成講習ご案内

昭和61年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場	
甲種	5月21日(水)、5月22日(木) 5月26日(月)	9時30分～16時	大阪科学技術センター (地下鉄本町駅ヨリ北へ3分)	
乙種 第4類	1期	5月21日(水)、5月22日(木)	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)	
	2期	5月26日(月)、5月30日(金)	大阪府商工会館	
	3期	5月28日(水)、5月29日(木)	堺市立勤労会館 (高野線堺東駅ヨリ13分) (阪堺線宿院駅ヨリ6分)	
	4期	5月20日(火)、5月27日(火)	茨木市商工会館 (茨木駅ヨリ約13分)	
	5期 (夜)	5/21(水)、5/22(木)、5/23(金) 5/28(水)、5/29(木)	18時～20時45分	大阪府商工会館
	日曜コース	5月11日(日)、5月18日(日) 6月1日(日)	10時～16時30分	大阪府立労働センター (地下鉄天満橋駅西へ約5分)
丙種	5月23日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館	

(注) 乙種(1.2.3.5.6類)受講者は、乙種1期、2期、3期又は4期と甲種の5月26日の指定時間を受講して下さい。

2. 受付期間と場所

受付場所	日時
豊中市消防本部内(阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分) 豊中防火安全協会	4月21日(月)午前10時00分～11時30分
茨木市消防本部内 茨木市災害予防協会	4月21日(月)午後2時00分～4時00分
東大阪市西消防署内(近鉄・小坂駅北へ6分) 東大阪市西防火協力会	4月22日(火)午前10時00分～11時30分
(地下鉄・守口駅前) 守口消防署	4月22日(火)午後2時00分～4時00分
岸和田市消防本部内 岸和田市火災予防協会	4月23日(水)午前10時00分～11時30分
堺市消防署内(阪堺線・大小路駅前) 堺防災協会	4月23日(水)午後2時00分～4時00分
四ツ橋ビル8階(地下鉄・四ツ橋駅北出口2号) ㈱大阪府危険物安全協会	4月25日(金)午前10時00分～16時00分 5月9日(金)(正午～1時休)

3. 夜間コース、日曜コースの申込方法

夜間(定員100名)、日曜(定員100名)コースは電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 受講会費(会費には、各テキスト代を含みます) 甲、乙種でテキスト不要の場合は各2000円減額。

種別	会員	会員外	備考
甲種	12,000円	14,000円	
乙種	8,000円	10,000円	
5期(夜)	10,000円	12,000円	
日曜コース	12,000円	14,000円	もぎテスト実施
丙種	3,500円	4,500円	

(注) 乙種1.2.3.5.6類受講者は、2種類以上の場合、各2000円増。また、科目免除者はテキストなしで、1種類につき1000円。